

おふるそうじ

くるさわじりにし小学校二年 榎原 諒大

ぼくのお手つだいは、おふるそうじをする
 ことです。おにいちゃんとお母さんとも、
 一緒にごうたいでやることにしていたけど、
 おにいちゃんはおにいちやんは、
 なかなかやりません。しゅくだいがおわって
 ないからです。そんな時、ぼくがかわりにや
 ってあげます。べつに、おにいちゃんのため
 ではありません。で、ぼくがはじめておふる
 そうじをしたのは、

まだようちえんの時でした。おゆの入って
 ないお風呂の中に自分が入って、お風呂そ
 うじをしていました。そのやり方だとビシヤ
 ビツにぬれるから、はだかになつて、がっ
 ていきました。でも今は、お風呂のそとから
 手がとどくので、ふくをきたままでもでき
 ます。手が長くなつたんだと思います。

せんざいのスプレーをシュツとして、
 スポンジをつかつてこすつていくと、おふる
 の中はツルツルになります。キョキョツッ
 として、

1
5
10
15
20
いう音がします。そして、ジャワーであわを

ながすと、おふろそうじはおわりです。それ

から、おにいちゃんに、

「今日もかわりにやっであげただからね。」

と言います。おにいちゃんは、

「ありがとありがと。」

「て言うけど、あんまりありがとうとは思っ

てないみたいですよ。でも、ぼくはかわってあ

げます。それは、おがあさんから、

「さすが、りょうたはえらいね。」

「て言ってもらえるのと、おふろがきれいに

なっで、とても気持ちいいからです。そし

て、きれいになったおふろにおゆをためて入

ると、もつと気持ちいいです。これからも、

おふろそうじのしごとをつづけたいと思いま

す。